

松風台社協だより

ひだまり

第 15 号

発行日 平成21年3月30日

発行 松風台社会福祉協議会

平成20年度の活動総括

松風台社協会長 西村勝彦

松風台社会福祉協議会の一年間を振り返りますと、社協直轄の「松の実会」「ほつとサロン」それぞれの役員の方々のご努力により活発な活動が継続されており、松風台だけでなく茅ヶ崎の他地区の活動モデルとして広く注目されています。「歌の街」につきましては、伴奏者のピアノの技術も素晴らしく参加者の皆が毎回なごやかなムードの中、懐かしい歌で童心にかえり、音程は兎も角として大きな声で歌える楽しい時間を過ごしています。

子ども会とのコラボレーションも昨年と同様、今年度も第一目標でありました。何か行事をと考えていたところ、子ども会、体育振興会の山崎さんそしてジェントルズの方々と餅つき大会の話があり、早速、社協との共催でということで三カ月前から計画し動き始めました。公園使用のための各種届出、道具類等の確認および準備などスムーズ

に運び、2月21日の当日は好天に恵まれました。餅つきが始まると子ども達は杵を持つ手に力が入り、次々と餅がつきあがり、からみ餅、きな粉餅、あんこ餅ができていきました。餅つきは初めての子どもも多くいたようですが、まわりの経験者の方々のアドバイスで調子よく進みました。また、餅の他に豚汁も作りお母さん達による材料の下ごしらえ等、日ごろの料理の腕をふるって愛情のこもった味になり、とてもおいしくいただきました。子ども達もは用意されたテーブルの所で、餅と豚汁を味わっていました。

ジェントルズの若いお父さんが公園に散歩に来ていた年輩の方々に豚汁を振舞っていたのを見て、やさしい気配りをととても嬉しく思いました。

松風台約六百世帯の中にはいろいろな技術や技能を持つ方が多数おられることと思います。一人ひとりの協力と努力により松風台の活動の輪が今後さらに大きくなって

いくことを願っています。一年間いろいろな経験ができ、楽しく過ごさせていただきありがとうございます。



ほっとサロン

ほっとサロンの活動も知らぬ間に3年8カ月が過ぎました。今では常連さんもうらつしやり、コーヒーのお代わりをされ、楽しいおしゃべりに花が咲きます。また、サークルの会合等にも利用していただいています。お客様が少ない日は、スタッフ同志の情報交換の場にもなります。今年度2人の新メンバーが加わり、更に賑やかになりそうです。

この活動が確実に根付いてきたのか多少不安もあるのですが、地域福祉のほんの小さな一翼を、細く長く担い続けられたらと思っています。
(二スタッフより)

毎月第2、第4水曜日

13:00~15:00

松風台自治会館集会室

レギュラー・コーヒー&

紅茶・・・50円

緑茶・・・無料

スタッフ募集しています。

窓口 磯野

歌の街

松風台社協の活動で新しい試みが「歌の街」です。一年半前から皆で集まって、昔懐かしい歌を中心にピアノの伴奏に合わせて、一時間半ぐらい声をそろえて歌います。皆楽しそうです。参加者のリクエスト

ト曲も大歓迎です。参加自由なので、月一回思いきりお腹から声を出して健康づくりに役立てましょう。

第2日曜日午前10時から 自治会館集会室

松風会

毎月発行する松風会便りには、一カ月の行事を載せて会員さんに配っています。老人会という古い人たちの集まりと思っていらいしやる方も多いと思いますが、最近では、若い会員さんも増えて考え方もいろいろあります。お互いに対立するのではなく、毎月の定例会で皆さんに相談し、よいと思ったことはどんどん採り入れ実行することにしていきます。お陰様で私のよ

会長 田中利子



歩こう会で苗場のドラゴンゴンドラを体験

うな年配者でも、何にでも挑戦しています。昨年は「松の実会」へも入会し、いろいろの人との交流や知らないこともずいぶん教えていただきました。また、「歌の街」では、思いきり大きな声を出しスッキリとした気分です。帰宅しています。あれもこれも、皆様のおかげと毎日感謝しております。

松の実会

代表 有元佳子

今年も緑輝く季節が巡ってきました。松の実会も新入会員を迎えて「楽しかったね」と笑顔がほころぶ会にしたいと思っています。昨年は10月に茅ヶ崎市より、この松の実会が地域福祉の推進に貢献したという功績で表彰されました。15年継続してきた実績と会員皆様方の力、そして発足させてくださった先輩や温かく見守ってくださる地域の皆様方のおかげと深く感謝しております。松の実会が松風台において誰でも集える仲間づくりの場として、心の通う、打ち解けあったコミュニケーションのできる場として、毎月第3水曜

日午前10時から午後2時まで楽しい時間を過ごしていただいています。そこにはお互いの絆が感じられ、この町で共に生活していく「共助の心」が育っているように思います。

昨年から88歳の米寿の会員を皆でお祝いし、喜びの気持ちとして花束をお贈りすることになりました。年齢を重ねる喜び、そして健康を守りぬく力もこの松の実会が糧となつて皆様のお役に立つことを願っています。

お問合せ先

釘宮 ()
伊藤 ()

一緒にお餅つき

2月21日(土)晴、南公園に行ってみると、何やらにぎやかな音と人の声。「本当のお餅つき」をやっている。かまども設置され、薪が勢いよく燃え、餅米が蒸しあがっていく。蒸しあがった熱々を臼にあげ、子ども5人が棒状の杵で「はんごろし」状につき、その後おじさんによって本物の杵で仕上げる。それを待っている子ども会のお母さん方や子ども達によって小分けされ、あんこやきな粉、おろし大根にまぶされて出来上がり。子どもにインタビューしてみると「初めてやって楽しかった!」「おもしろいけど肩が痛い」「お餅やわらかくておいしい!」と返ってきた。前日から餅米を研ぎあげておき、早朝からの準備、10釜を蒸してついて、傍らで豚汁を用意し、ふるまってくれた松風台社協やジェントルズ、体育振興会のおじさん、お婆さん、子ども会のお母さんお父さん、お疲れ様でした。子ども達には良い思い出の一日となりましたね。子ども26人、大人36人の参加でした。(ひだまり編集委員取材)

子ども会

子ども会年間行事

- | | |
|------|--------------------------------------|
| 4月 | 新入生歓迎会
(ウォークラリー) |
| 6月 | ドッジボール大会 |
| 7/8月 | 子ども囲碁教室 |
| 8月 | 松の実会との合同制作
夏まつり(神輿・夜店)
ラジオ体操 |
| 10月 | 秋の遠足
(寄木細工体験・地球博物館)
ハロウィンパーティー |
| 12月 | クリスマス会 |
| 2月 | 餅つき大会 |
| 3月 | 6年生を送る会
(ボーリング大会) |

五千日

田中 久夫

中国に「醉生夢死」という言葉がある。食べて寝て、働いているだけでは、人生はあつという間に終わってしまうという意味だそうである。私も昨年、古希を迎え70歳となったので、余命があといくらあるかを調べてみたら、14年余りと出た。日数にすると五千日余りである。五千日もあるかと思う人より、五千日しかないと思う人のほうが大半であろう。私もその一人である。残された日々が少ないなら、一日一日を大切に、いかに楽しく生きていくかを考えていかなければならない。幸い趣味も多く、友人も沢山いるし、ボランティア的な仕事もあるので、今のところは問題ないが、体の節々にガタが来たり、友達も他界する年齢になってきたので、少々焦りを感じている。

人生は、まだ五千日もあると思い、健康に留意し、趣味を増やして友達を作ったり、没頭できることを探して、日々を楽しく、有意義に過ごしたいと思う。それでぼつくり逝ったら、それこそ大往生である。あつという間の人生かもしれないが。



こんにちは！児童委員・民生委員です

〈担当地域〉

有元佳子（ ）

4 街区～10 街区（1～34）、11 街区～16 街区

伊藤和子（ ）

1 街区～3 街区、10 街区（35～44）、

17 街区～25 街区

気軽にお声をかけてください。

湘北地区ボランティアセンターが移転しました

場所は南公園の西口を出て香川小学校に向かう道の右側です。詳しくは2月に配付された湘北地区ボランティアセンターの「しおり」を見てください。

場所：香川 2-18-17

TEL/FAX：27-2030

ボランティアも募集しています！



ハロウィンの子ども達



8月に第14号をお届けしてから早くも8カ月が経過し、もう春です。今回は福祉講座が開かれなかったのですが、2月に、子ども会と体育振興会、ジェントルズの協力で行なわれた餅つきの写真で表紙を飾りました。10月に行なわれたハロウィンと合わせ、子ども達に元気づけられました。（H）

編集後記

松風台のホームページをのぞいてみましょう。

www.matsukazedai-chigasaki.com

「松風台自治会」のキーワードでも検索できます。